



記者提供資料

2021年（令和3年）3月26日

政策局市長室 TEL 078-918-5000

生理用品サポート事業「きんもくせいプロジェクト」をスタート

新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済的な理由で生理用品が買えなかったり、十分に入手できず学生生活に支障がでるなどといった「生理の貧困」に国内外で関心が高まっています。

本市では、市内の学校、若者や女性が立ち寄りやすい施設等において、市民を対象として様々な困りごとの相談に応じるとともに生理用品を配付するなど適切な支援につなげていきます。

1 対象者及び相談窓口等

	対象者	相談窓口	相談の受付方法
こども	市内の小中学校、明石商業高校の児童及び生徒	各学校の保健室(43校)	「保健だより」等でお知らせし、保健室で対応
	中学生、高校生、大学生 専門学校生等	AKASHI ユーススペース (パピオスあかし5階)	トイレ内にカードを配置し、受付カウンターでカードを提示してもらう 希望する場合、継続相談につなぐ
	要支援児童	明石こどもセンター	家庭訪問時等に個別で対応
一般	その他市内在住の女性	あかし男女共同参画センター (アスピア明石北館7階)	トイレ内にカードを配置し、受付カウンターでカードを提示してもらう 希望する場合、継続相談につなぐ

2 事業期間

2021年（令和3年）4月1日から1カ月間（ただし、市内学校での対応は継続）

4月中の相談状況を精査した上で、受付場所の変更など5月以降の実施について検討していきます。

3 生理用品について

今年度予算の範囲内で3,000袋（78,000個）を準備します。

また、防災用として備蓄している生理用品の内、昼用90袋（2,340個）、夜用180袋（2,340個）を活用します。

4 配付物内容

- ・一人につき生理用ナプキン1袋（26個入り）
- ・相談窓口の案内チラシ等

生理用品サポート事業

～相談・無償配布～

こども	学校の 保健室 など 45 か所
一般	男女共同参画センター

4月スタート

約8万個 配布予定

きんもくせい
プロジェクト



生理の貧困対策のポイント

男性 目線 → 女性 目線

おとな 目線 → こども 目線

役人 目線 → 庶民 目線

生理用品サポート事業 ひとりで悩まないで 生理用品の購入に 困っている方へ



明石市では、コロナ禍において、女性の負担を少しでも軽くするため4月から生理用品をお渡しします。

対象 明石市民・市内学校に通う学生

お渡し場所 AKASHI ユーススペース

受け取るには？ トイレに設置しているカード(下図)をお渡し場所にお持ちください。



カード見本

あかし きんもくせい プロジェクト

対象者：明石市在住の人、市内学校の通学者
受付：ユーススペース窓口（保育ルーム奥）

下記のうち、あてはまる□に✓を入れて、窓口にご持参ください。

- 明石市在住（ 大久保地区 魚住地区 二見地区 左記以外）
- 市内学校（小・中・高・専門学校など）に通う学生
- 大学生 10歳未満 10歳代 20歳代